

TPA

Newsletter



Vol. 29 November 2006

会員の皆様におかれましては、平素よりTPA・JTECS事業に格別のご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。泰日経済技術振興協会(TPA)日本語ニュースレター“TPA Newsletter”11月号をお届けいたします。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最近の活動

◆ 第2回 “TPA Automation Kaizen Award” 大会 ◆

2006年10月3-4日、第2回TPA Automation Kaizen Awardを開催しました。大会には215名の参加があり、現場工学研究所 吉田秀一代表取締役の特別講演「Kaizen Concept」「KOBETSU KAIZEN (Kaizen for TPM)」に加え、最終4社7作品のプレゼンなどが行われました。第2回大会の結果は下記の通りとなります。



賞	作品テーマ	事業所
Golden Award	Back Rasin Checker	SANYO SEMICONDUCTOR (THAILAND)
Silver Award	Stamp Mark Maching	LUMPHUN SHINDENGEN
	MTD Auto Screen Maching	LUMPHUN SHINDENGEN
	Auto PCB Cleaning Machine	PIONEER MANUFACTURING (THAILAND)
分析力賞	Bolt Main Cap AC. Nut Runner Automatic M/C	ISUZU ENGINE MANUFACTURING (THAILAND)



吉田氏



◆ 日本人専門家による特別セミナー「商品企画とTRIZ」◆

9月26-29日、日本における技術問題解決手法TRIZ推進の中心的機関 産能大学 TRIZセンターより黒澤 横輔 TRIZ担当部長をお迎えし、TRIZセミナーを開催しました。第3回となる今回のテーマは、コンテンツTRIZによる商品企画。TRIZを発展させて商品企画や技術戦略の検討に使用する方法の紹介ならびにワークショップを実施しました。新しい手法であるため、理解の難しい点が多かったにも関わらず、熱心な参加者が多く、多くの質問も飛び交い活気あるセミナーとなりました。



◇ Campus Tour ◇



TPA語学学校出版部では、協会書籍のPRもかね、子供達へ読書や日本への興味を深めてもらうため、展示やゲームを通して本や日本を身近に感じてもらう、小・中学校へのイベント" Campus Tour"を行いました。



◆ 日本人対象「ISO9001/ISO14001」セミナー ◆

9月21日、ISO9001：2000品質マネジメントシステムならびにISO14001環境マネジメントシステム導入を成功へ導くために重要な役割をはたす経営トップの方々に、ISO9001と14001の知識・理解を深めて頂くため、実際に日系企業で指導の経験の豊富な講師にISO9001ならびにISO14001マネジメントシステムの考え方と活用、進め方についてご教授いただきました。



◆ 日本人専門家による特別セミナー「LCAとからくり改善」 ◆

10月6日、現場工学研究所 吉田秀一代表取締役を講師にお招きし、LCA(Low Cost Automation) とからくり改善についてのセミナーを開催いたしました。極端な自動化(Over Automation)の失敗より生み出された、現場の作業者による費用のかからない簡単な機器の改善であるLCA ならびに、LCAのひとつであるからくりについて、映像など多くの事例を参照にご講義いただきました。セミナーには 153 名もの方々が参加し、LCAへの関心の高さがうかがわれました。



◇ Welcome ! 最近の 主なご来訪者 ◇

● 経済産業省 石黒審議官 ●

8月28日、経済産業省より、石黒審議官が、TPAを訪問されました。



● 大阪大学 橋本理事 ●

10月18日、大阪大学 橋本日出男理事が、TPAを訪問されました。



◆ JETRO新旧所長歓送会 ◆

8月6日、TPA主催にて、JETRO加藤所長、黒田旧所長、歓送迎会を開催いたしました。

◆ 住友商事より泰日工業大学へ寄贈 ◆

9月14日、住友商事より、泰日工業大学へ、コンピューター98台をご寄贈いただきました。



改善標語コーナー



「自分の頭」だけでは、
良いアイデアは得られない
「他人の頭」も大いに
活用・借用すべし

「他者の改善」をマネて、パクって、盗んで
さらに改善、もっと改善すべし

改善は「アイデアの出所」を問わない
とにかく、より良い手段・方法で
自分の仕事が、より良くなれば改善

マネる＝参考にする
パクる＝ヒントを得る
盗む＝アイデアの拝借・借用
共有化＝マネる、パクる、盗む

©日本HR協会
「カイゼンカレンダー」より

今後の予定

◆ 第5回5S大会 ◆



2006年11月16-17日、ニューペプリ通りソイ・スウィ
チャイのRoyal Golden Jubilee Buildingにおいて、第5
回TPA 5S大会「5th Thailand 5S award 2006」を開催い
たします。

大会では、今年度最終審査通過5社ならびに、過去の優
勝企業3社のプレゼンテーションの他、日本人専門家に
よる特別講演など盛りだくさんの企画を準備しておりま
す。

あらゆるマネジメントの基礎であり、社員教育の重
要な要素でもある5S活動推進のため、是非スタッフの派
遣をご検討下さい。

参加費 2,140 Baht : 2日間通し券 (VAT・昼食含む)
5名申し込みで1名無料 (10月31日まで)

担当連絡先 : Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 771-776
e-mail : wacharaporn@tpa.or.th nps@tpa.or.th

★ 出版部より

TPA書籍は、TPA Book Center (スクンビット本館、パタ
ナカーン新館、ランシット分校)、及び一般書店にて販売
されております。一部TPA出版物は、JCCでも、ご購入いた
だけます。

また、クレジット決済も可能なオンライン通販もござい
ます。是非ご利用下さい。

<http://www.tpabookcentre.com>

◆ 改善活動のための情報誌 『Creative & Idea Kaizen』 ◆

あなたの会社では改善活動をしていますか？
実施はしているけれど、停滞していませんか？

TPA出版部では、この度、新情報誌「Creative & Idea Kaizen」を発売いたしました。

日本における製造業・サービス業の改善活動の紹介を通し、創造と質の向上をもた
らす活動の推進をサポートするもので、日本HR協会発行「創意とくふう」を基に、図
・イラストをふんだんに使った大変読みやすい、月刊改善情報誌です。
改善活動推進に是非お役立てください。

定期購読料金 : 500円- (税/送料込み) : 年間配本12冊
5部以上のお申し込みの場合、1部を無償
※只今お申し込みの方には、発売記念として、改善ポスターを進呈。

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1750, 1740



A5版58ページ

◆ 新刊翻訳書籍のご案内 ◆

『成功する男はみな非情である』 P-0602 180p-7
 (日本語オリジナル：PHP研究所発行、角川いつか著)
 成功することの裏の厳しさ、辛さ。ライバルを蹴落とし、時には仲間をも冷酷に切り捨てなければならぬこともある孤獨な成功者。割り切り、何を切り捨てていくかを決断できる人が成功を掴み取れます。数々の成功者を知る著者が語る非情の哲学。



『ロジカルシンキングが身につく入門テキスト』 P-0606 200p-7
 (日本語オリジナル：中経出版発行、西村克己著)
 初心者にも理解できるよう、論理的に物事を考える「ロジカル・シンキング」を日常生活でどう身につけ、実践していくのかを平易に説いた入門書です。企画書の作成やブレイン・ストーミングなど、身近な応用例を数多く取り上げ、すぐに実務に役立てられるよう工夫が凝らされています。

◆ 『決定版 失敗学の法則』 P-0604 230p-7
 (日本語オリジナル：文藝春秋発行、畑村洋太郎著)
 東京大学名誉教授 畑村洋太郎により確立された「失敗学」。失敗は何故起こり、どう生かせばよいのか。32の法則により失敗の本質を明かし、創造的仕事のための知恵を与えてくれる実践的ビジネス書の決定版。



『5Sをやってシャキッ! としなさい』 T-0605 200p-7
 (日本語オリジナル：日刊工業新聞発行、ジット経営学研究所編)
 今後製造業で勝ち残るためには、顧客の望むものを良い品質で、安く、早く、安全に届けることが前提となってきます。本書は、企業として「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5Sを見直す一冊です。これから5Sを始める方や企業にとって、初歩的な内容を具体的方法や手順、事例などを元にわかりやすく掲載。



『営業・流通部門強化のためのそのまま使える経営計画マトリクスチャート集』 T-6610 170p-7
 (日本語オリジナル：かんき出版発行、中村穂著)
 従来の“数字羅列式”計画書を、視覚に訴える立体的なチャートで表わしており、特別な資料がなくても、誰にでも簡単に作成できるよう工夫されています。



『実践 目で見える管理テクニック』 T-0611 170p-7
 (日本語オリジナル：JIPMソリューション発行、渡辺高志著)
 製造現場の改善にリンクした進め方を基本スタンスとしており、眼で見える管理の正しい理解、そのアクションプログラム、自主保全活動・手作業職場のロス改善を通し、異常に強いオペレーターの育成を応援します。



(日本語オリジナル：実業之日本社発行、赤川次郎著)
 赤川次郎の花嫁シリーズ最新刊。



『逃げ込んだ花嫁』 L-06NG 175p-7



『七番目の花嫁』 L-06NE 175p-7

★ 語学部より

◇ スクンビット本校タイ語コース ◇

コース	受講日	時間	受講料(ﾊﾞｰｯ)	申込期間	開講期間
初級	月～金	9:00～11:30	6,800	9/18～10/20	10/24～12/21
＼	＼	＼		10/11～11/14	11/16～1/26
初級【夜】	月・水・金	18:30～20:30	6,900	9/2～11/1	11/7～
中級	月・水・金	9:00～11:30	6,500	11/19～3/8	3/12～6/20
タイ文字	月・水・金	9:00～11:30	6,600 (6～7名) 5,800 (8～10名) 5,100 (11名以上)	11/3	11/22～
短期集中 タイ語会話	月・水・金	3:00～15:45	3,000	10/30	11/1～11/27
＼	＼	＼	＼	1/10	1/17～2/12

- * これら前期コース終了後、引き続き後期コースが開校されます。(会話復習コース除く)
- * 受講者が定員に満たない場合には、開校されない場合がございます。
- * 「タイ文字」「短期集中タイ語会話コース」は、観光ビザの方でも受講できます。
- * 初級・中級につきましては、観光ビザでは受講できません。日本国内の姉妹団体(財)アジア学生文化協会 ABKアジアセミナーを通してお申し込みください。就学ビザの取得ができ、午前コースへのお申し込みが可能です。 問い合わせ先: seminar@abk.or.jp

◆ ゆったりタイ語コース ◆

ゆったりタイ語を勉強したい方のための新コースです。
自己紹介、挨拶、買い物、旅行、道の尋ね方など、タイでの生活に必要な会話を中心に勉強します。

コース期間 2006年11月1日～2007年3月28日
水曜 10:00～12:00 (40時間)

受講料 6,200ﾊﾞｰｯ
申込締切 10月27日(定員15名)

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640 e-mail : thschool@tpa.or.th

◆ 第23回ABKタイ語検定試験 ◆

11月12日(日)、第25回ABKタイ語検定試験を実施いたします。(1次筆記試験)

タイ語力を客観的に計ってみたい方、学習の目標とされたい方など、多くの方の参加をお待ち申し上げます。タイ語力を客観的に計ってみたい方、学習の目標とされたい方など、多くの方の参加をお待ち申し上げます。今回より1級の検定試験を開始いたしました。

受験料: 5級: 1,400ﾊﾞｰｯ / 4級: 1,750ﾊﾞｰｯ / 3級: 2,100ﾊﾞｰｯ / 2級: 2,800ﾊﾞｰｯ / 1級: 2,800ﾊﾞｰｯ

出願期間: 2006年10月2日(月)～11月6日(月)

※各級の試験時間は異なりますので、複数の受験が可能です。

※過去問題集を一部200ﾊﾞｰｯにて販売いたします。

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640, 1680 e-mail : tpa-japanese@hotmail.com

★ セミナー一部より

<http://www.tpif.or.th/>

◇ 日本人対象『労働保護法』セミナー ◇

日系企業の皆様により良い職場環境の構築を目指していただくため、元中央労働裁判所陪審員で労働省顧問を講師にお招きし、日本人管理者の方々を対象に、労働保護法のコースを開催いたします。

日時 2006年12月13日(水曜日) 9:00～16:30

会場 Amari Atrium Hotel

受講料 TPA会員・JCC会員 : 3,000 Baht / 一般 : 3,500 Baht (VAT・昼食含む)

担当連絡先 : Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 81



◇『成果を生むTPMへの道』◇



TPMは企業体質を改善し、生産現場を画期的に向上させるプログラムで、成果を出しながら現場を変え、人を変え、企業の体質を強化するものです。TPMを正しく理解するには、優秀工場を実際に見学し、TPMコンサルタントの解説に耳を傾けるのがベストです。

この度、JIPM-Solutionsと泰日経済技術振興協会(TPA)の共催にて、タイにおけるTPM実践企業の中でも、とりわけすばらしい成功事例を出し、かつ10年に渡り成果を出し続けている優秀工場の見学、ならびにJIPM-Solutions有名コンサルタントによる講義から成る特別コースを開催いたします。このコースで、TPMで成功するための秘訣が学べます。

日時 11月24日9:00~17:15

参加費用 TPA会員 8,000 Baht / 一般 9,000 Baht (VAT込み)

プログラム

午前 有名コンサルタントによる講義 (日本語の講義をタイ語に通訳)

『TPM概論。成果を出すTPMのキーポイントと秘訣』

鈴木俊氏 (多くの国、多くの工場を一変させたベテランコンサルタント)

『個別改善とその成果』

守田義昭氏 (TPMを世界に広めた若手No.1コンサルタント)

午後 優秀工場の見学 (1社を選択)

・ユニリーバ、ミンプリ工場

・日産パワートレーン/NPT

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81,751 e-mail: jaruwadee@tpa.or.th

☆ 在タイ日本人のための、日・タイ クロスカルチャー講座 (第16回) ☆

(本講座は、TPA書籍「日本 クロスカルチャー タイ」から、内容を一部抜粋しております)

「クーデターの国」

タイは、革命やクーデタなど政変が多い国の一つだ。理由はタイの国内統治にごく最近まで、軍部が深く関わってきた背景がある。これまで、サリット・タナラット元帥や、タノーム・キティカチョン陸軍大将、クリアンサック・チャマナン陸軍大将、チャートチャイ・チュンハワン陸軍大将、プレム・ティンナスラノン陸軍大将、チャワリット・ヨンチャイユット陸軍大将など軍人出身(特に陸軍)の首相が何人も出現していることにも如実に現れており、陸軍士官学校が「首相養成学校」などと呼ばれる所以だ。

タイで最初に起きた革命は、海外留学経験のある若者たちによって1932年に起きた立憲革命で、その後、革命、クーデタ、謀反のほか多くの大きな政変が発生している。

多くが政治的権力奪取を試みる軍部によって引き起こされたもので、政治的不安の増大は海外からの投資縮小など、後退を生み出す要因になっていた。

国民の中にも、こうした手法による政変は「時代遅れ」という見方が広まっていること、タイは民主憲法を持つ民主国家であることから、今後はクーデタなど非合法・武力的手段による政変が発生しないこ

「日本 クロスカルチャー タイ」* は、TPA Book Center各書店、バンコク日系書店、JCC、日本人会別館などにて好評発売中です。(199ページ)

上記の紹介例をはじめとする124の事例をもとに、日本人がタイで生活・仕事をする上での注意点、タイ人スタッフとの接し方、タイ社会のタブーなどを面白く解説した書籍となっています。

日本国内では、アジア文庫(神保町:電話03-3259-7530)にて取り扱っております。こちらも合わせて、御利用ください。

* Interview *



黒澤 慎輔（くろさわ しんすけ）

学校法人産業能率大学 経営開発本部 TRIZセンター TRIZ担当部長

1971年、東京大学教養学部卒業後、榊小松製作所に入社。マーケティング、経営企画、国際事業企画などを担当。海外駐在7年。1979年、英国ウエストミンスター大学にて、ロシア地域研究を専攻。ポストグラチュエートディプロマ。

2001年、学校法人産業能率大学入職。現在に至る。

所属学会・資格：失敗学会、TRIZスペシャリスト

黒澤先生、この度はお忙しい中「商品企画とTRIZ」セミナーをお引き頂きありがとうございます。

また、本日はお疲れの中インタビューにご協力頂きましてありがとうございます。

TRIZにあまりなじみのない方もおられるかと思しますので、先ず始めに、TRIZとはどのようなものかについてお話を聞かせていただけますでしょうか

TRIZという名前は、発明的問題解決理論という言葉のロシア語の頭文字である（T：理論 / R：解決 / I：発明 / Z：課題）から取ったもので、直訳しますと、発明とよべる高いレベルの課題を解決する方法についての理論ということになります。高度な発明は天才のような優れた能力によってのみ生まれるものと思われがちですが、旧ソ連海軍の技術者だったGenrikh Saulovich Altshuller氏は1946年に、発明のような高度な技術革新は個人の天才的能力に頼るのではなく、必要な知識と正しい手順を使って考えることによって可能になるはずだと考えてTRIZを生み出しました。これが、1990年代初めにアメリカなど西側へ移転し、急速に普及していきました。

TRIZの方法を一言で言えば、技術史の教訓を実際に活用することです。

技術史の教訓とは、社会で使われている製品や技術がどのように変化してきたかを、主に機能の側面から見た時に、歴史の中で繰り返して観察される法則性・傾向性のことです。過去に繰り返されてきたものは、今後も起こりうるものですから、その法則性・傾向性を、今後の商品の予測や改良などの問題解決に役立てることができると考えます。これがTRIZの本質と言えます。

TRIZの特徴とはどのようなものなのでしょうか

第一に、TRIZは断片的な手法ではなく、ある現実的な状況で技術革新を実現することを考えるための体系的な方法だということです。この特徴はTRIZが、アイデアを発想する人の思考作業だけでなく、得られたアイデアが具体的な製品や技術になり、市場に受け入れられ使用されるころまでを視野に入れていることから得られるものです。第二には、得られた状況の中で検討しなくてはならない様々な視点をTRIZが網羅的に提供してくれるという点があります。Altshullerやその弟子達によってTRIZが今日の姿になるまでに膨大な量の技術史研修と250万件にのぼる特許の分析が行われたことがこれを可能にしているのです。このため、TRIZを使えば、自信を持って問題に取り組み、必要なアイデアを効率的に良く得ることが可能なのです。ブレンストーミングなどでは、たくさん出たアイデアのほとんどが役に立たないものですが、それと比較すると、方向性、ガイドに従ってやることによりアイデアの良くないあるいは質の低いものが省かれ、質のいいものが、比較的早くに出て来ます。

TRIZは、現状をブレークスルーする方法を発見するために使う道具と考えることができます。一般的に提唱されているブレークスルーの方法は、過去から現在までの経緯を踏まえずに、いっぺんに未来から現在を考えたり、分析的思考・積上げ思考を否定し、非論理的思考によって従来の束縛から離れることでブレークスルーが可能になると主張しますが、TRIZは正反対で、技術史を通し、体系的・合理的に分析し、限界を理解して活用するものなのです。なぜなら、過去から現在までの経緯を除けば、我々が未来を考える素材は一切存在しないからです。

現在のTRIZの広がりはどのようなものですか

世界的に広がってきています。現在、ロシア、アメリカ、ヨーロッパで毎年コンファレンスが開催されていますし、メキシコや日本・韓国などのアジアでもTRIZを使う技術者の数が増えています。

日本へは、1996年頃に紹介されましたが、当時はまるで「魔法の杖」のようなものとして紹介されました。現在では、「魔法の杖」ではなく、やるべきことを着実にやる方法として定着し始めています。以前は「TRIZとは何ですか」という質問が多かったのですが、最近では、「TRIZを会社にどう導入したらよいだろうか」という質問に変化してきています。

日本でも大手企業を中心に数十社が勉強し、企業として体系的に導入した会社ほど成果が上がっています。TRIZを使って検討した結果が特許に繋がった実績を数百件も持っている企業も現れています。

また、最近では中小企業でも独自で勉強し始めているところが増えてきたようです。

お陰様で、忙しくなったもので講師が足りず、私も借り出されることが多くなりました。

今後の課題などございますでしょうか

やはりトップダウンで取り組んでいただくことが普及の大きな鍵となりますので、トップの方に興味を持ってもらうことが大切であると考えています。

そのためにも、忙しい社長が気軽に読んで面白そうだと思う本が必要です。自分も書きたいと思っているのですが、最近コンサルタントや指導で忙しくなっていて、執筆の時間を取るのが難しくなってきたのが悩みの種です。

その貴重なお時間を今回タイでのセミナーに割いて頂いたわけですね。本当にありがとうございました。

出版のお知らせ、お待ちしております。その折には、是非TPAIに翻訳出版をさせていただきます。

TPA日系法人会員募集

会員の皆様には、会報「TPA News」や技術情報誌「Technology」などを通じた情報提供、および、セミナー研修、日本語コース、書籍やその他サービスの割引などの特典がございます。

TPA会員特典を生かし、タイ人スタッフへの教育、企業研修にご活用頂きたく、ご検討の程よろしく願い申し上げます。

日・タイ経済協力協会 (JTECS) は、TPA事業に関する、日本側からの支援事業を行っております。

東京都文京区本駒込 2-12-13 (アジア文化会館)

Tel : (03)3946-0841(代) Fax : (03)3946-0896

e-mail : admin@jtecs.or.jp <http://www.jtecs.or.jp>

JTECS

編集・発行



TPA : 泰日経済技術振興協会 (タイ語略称 : ソーソートー)

Technology Promotion Association (Thailand-Japan)

<http://www.tpa.or.th>

日本語でのお問い合わせは、日本人スタッフまでお願いいたします。

Tel. 02-258-0320 浅見 Ext. 1913 ・ 藪内 Ext. 1912

【スクンビット本館】

- 語学事業 (日本語、タイ語、英語、中国語)
- 出版事業 (語学テキスト、技術書、文化本、日本語書籍からの翻訳出版を含む)

5-7 Sukhumvit Soi 29, Bangkok 10110 Tel. 02-258-0320 Fax. 02-662-1017



【パタナカーン新館】

- セミナー研修事業 (技術、経営など)
- カリブレーション、水質検査事業
- IT事業
- 中小企業診断、診断士育成事業 (タイ国工業省委託)

534/4 Pattanakarn Soi 18, Bangkok 10250 Tel. 02-717-3000 Fax. 02-719-9481